

## アストラゼネカ(株)による耕作放棄地の復旧作業など棚田保全活動を実施

### < 岐阜県 >

1. 市町村・集落の名称	恵那市中野方町『坂折棚田』（NPO法人恵那市坂折棚田保存会） 民間企業による棚田保全活動
2. 協働の相手（企業や大学等）の名称	アストラゼネカ（株）（大阪市北区） 大阪府大阪市北区大淀中1-1-88 Tel:06-6453-8011
3. 仲介者・コーディネーターの名称	NPO法人棚田ネットワーク 東京ボランティア・市民活動センター
4. 協働のポイント	アストラゼネカ(株)は年に1日、社を休業日にして、全国55カ所の農村で社長以下社員約3,000名が参加する社会貢献活動を実施しており、今年で3回目となる。岐阜県では恵那市「坂折棚田」が活動場所に選定され保存会員と社員が『協働』の形で活動を展開している。
5. 協働のきっかけ・経緯	H18.10 NPO法人棚田ネットワークを通じてアストラゼネカ(株)のCSR活動の受入について、恵那市坂折棚田保存会（現NPO法人）に依頼があり実施する運びとなった。
6. 取組の具体的な内容	アストラゼネカ(株)の名古屋・岐阜地域に配属されている社員約30名が「坂折棚田」を訪れ、保存会員と共に棚田保全活動に取り組んでいる。 具体的な活動としては以下のような取り組みを実施。 ・耕作放棄地の復旧作業 ・景観作物の植栽 ・石積みの除草作業など
7. 農村地域への効果	・耕作放棄地の復旧や景観作物の植栽により棚田の景観保全に繋がった。 ・都市と農村の交流が図れた。
8. 都市部の主体（企業や大学等）への効果	・ボランティア活動に対する機運が高まった。 ・高齢化、過疎化する地域の人的支援に繋がった。
9. 仲介者等の役割	・コーディネーターとして活動に必要な情報を提供し、全国にある棚田の紹介を行った。 ・企業と受入先との間を取り持った。
10. 今後の課題	・活動における作業内容の検討。 ・活動以外での企業との交流を図る。
11. 関連事業（国・都道府県等）	